



Corporate guidance

組合案内

人・クルマ・未来

Keihin automobile cooperation association

京浜自動車協業組合

京浜自動車協業組合

○ 経営理念 ○

- 1.安全・安心なサービスの提供
- 2.信用・信頼の重視と誠実な行動
- 3.事業を通じての社会貢献
- 4.人間尊重
- 5.堅実経営

○ 行動指針 ○

- 1.確かな技術と迅速な作業で、
安全・安心なサービスを提供します。
- 2.信用・信頼を重んじ、誠実に行動します。
- 3.自動車整備事業を通じて、広く社会に貢献します。
- 4.お客様・従業員を大切にします。
- 5.堅実経営に徹します。

組合の沿革

昭和45(1970)年	羽田近郊の自動車整備工場4社で協業組合の必要性と共同事業場の設立を話し合う。
昭和50(1975)年	環状8号線の拡張工事の移転先候補地として京浜島に決定する。
昭和50(1975)年11月	自動車分解整備事業の認証を取得する。 (株式会社五進サービスとして昭和41年9月取得)
昭和53(1978)年08月	東京都中小企業団体中央会の指導を受けながら組合設立の手続きに入る。
昭和54(1979)年03月	協業組合設立。(16日 東京都大田区西糀谷)
昭和54(1979)年12月	京浜島に共同事業場を設立して移転する。
昭和55(1980)年02月	指定自動車整備事業の指定を取得する。
昭和61(1986)年	工場作業面積が手狭になったのと作業環境の改善、整備機器及び钣金塗装設備の充実を計るために立体化を計画する。
昭和63(1988)年	立体化の計画について東京都商工指導所及び中小企業事業団の高度化事業として診断を受ける。
平成02(1990)年05月	新工場が完成する。
平成14(2002)年07月	DRPネットワークに加盟する。
平成22(2010)年05月	車検の検査ライン及び検査機器の更新を行う。
平成22(2010)年07月	工場建物の大規模改修工事が完成する。
令和02(2020)年12月	一般社団法人 全国総合福祉車両協議会に入会する。
令和03(2021)年05月	一般社団法人 全国総合福祉車両協議会より「福祉車両整備士」に認定される。
令和03(2021)年06月	自動車特定整備事業の認証を取得する。

組合の概要

商 号	京浜自動車協業組合
法 人 番 号	9010805000383
郵 便 番 号	〒 143-0003
住 所	東京都大田区京浜島 三丁目 3 番 1 0 号
T E L 番 号	03-3790-2125(代表) 03-3790-2129(钣金直通)
F A X 番 号	03-3790-8590(2F) 03-3799-8558(1F)
ホームページ	http://kjk3310.com
メールアドレス	info@kjk3310.com
資 本 金	9,800 万円
従 業 員	29 名(令和 03 年 4 月 1 日現在) 整備 7 名 (検査員 3 名)、钣金塗装 8 名
許 認 可	自動車分解整備事業 認証 1-6887 指定自動車整備事業 東指 第 1-1556 自動車特定整備事業 認証 1-6887 東京都 環境確保条例による認可工場 第 06055 号 古物商 第 301138101662 号 E T C(2.0)セットアップ登録店 第 0208-022302 号
工 場 建 物	敷地 969.98 m ² (293.933 坪) 建物 2,091.05 m ² (633.652 坪) 5階建 1～5 F 自動車専用エレベータ設置 5 F / 塗装専用フロア 4 F / 钣金専用フロア 3 F / 钣金・塗装兼用フロア 2 F / お客様スペース、事務所 1 F / フロント、整備フロア、検査ライン
取 引 銀 行	みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行 さわやか信用金庫、城南信用金庫

営業種目

● 自動車 ●

車検 定期点検 一般整備 钣金・塗装 自動車電装品整備全般

クレーン・パワーゲート・パワーリフトなどの各種油圧機器整備全般

冷凍・冷蔵車などの冷却装置整備全般

パネルバン・アルミバン・ウィングバンなどの箱物整備全般

福祉車両(車いす昇降用リフト、車いす固定装置など)の整備全般

新車及び中古車販売 (国産メーカー及び一部輸入車)

自動車リース・レンタル

自動車部品販売 メーカー純正部品 社外部品 中古部品 リビルト部品

自動車用品販売

タイヤ・バッテリー・カーオーディオ・カーナビ・ETC・ドラレコなど

手続代行 移転・変更・抹消などの申請代行 車庫証明 廃棄車両受入れ

● 保険 ●

各種損害保険 (自賠責保険・自動車保険・火災保険・傷害保険など)

● その他 ●

自動車関連業務全般、各種産業機械整備、特注加工製品製造

提携・指定・認定・協力

チャブ損害保険 協力修理工場

損保ジャパン日本興亜 ダイレクト・リペア・サービス(DRS) 協力工場

セゾン自動車火災保険 提携修理工場

チューリッヒ保険 指定修理工場

SBI損保 安心工場：指定修理工場

アクサ損害保険 パイロットガレージ：指定修理工場

イーデザイン損保 提携修理工場

DRPネットワーク 加盟店工場

東京損害保険代理業協会 提携工場

セゾンカード カーアシスタンスデスク提携工場

保険代理店

● 自賠責保険・損害保険 ●

損保ジャパン

東京海上日動火災

設備機器

● 整備用機器 ●

トラバースベイ式車検整備装置×1 2柱式 3.7t 自動車整備リフト×1

全自動トルコンオイルチェンジャー×1 故障診断器 G-scan ×1

部品洗浄装置×1 ホイルバランサー×1 タイヤチェンジャー×1

エアコンプレッサー×4 ブレーキフルード自動エア抜き交換機

スチーム洗浄機×2 その他認証用工具一式

● 車体整備機器 ●

塗装乾燥用ブース×2 (ニッシン/901-II、CP-7000PBD)

CBS ラインシステム×一式 遠赤外線乾燥機×8

車体修正機×2 (カロライナー/MK-IV、ブラックホーク/コーレック)

Co2/MAG 溶接機×1 アルミ/ステンレス溶接機×1

水冷式スポット溶接機 (ヤシマ YSI-25EZ-S 最大出力 12,500A)

● 検査用機器 ●

ブレーキテスター×1 スピードメーターテスター×1 サイドスリップテスター×1

ヘッドライトテスター×1 Co.HC テスター×1 ディーゼルスモークテスター×1

音量計×1

主要取引先

● ディーラー関連 ●

トヨタモビリティ東京 東京日産自動車販売 スズキ自販東京 東京日野自動車
いすゞ自動車首都圏 関東日産ディーゼル ダイハツ東京販売 関東マツダ
三菱ふそうトラック・バス 他

● リース・レンタカー関連 ●

トヨタモビリティサービス タイムズモビリティ 日産フィナンシャルサービス
住友三井オートサービス オリックス自動車 SMAS リース 大阪トヨペット
日本カーソリューションズ 三菱オートリース 西出自動車工作所
協和自動車 キリックリース マックス 芙蓉オートリース 東洋カーマックス
ナルネットリコミュニケーションズ Jネットレンタリース
日進商事・NISSHO レンタカー 他

● 一般企業関連 ●

SBS リコーロジスティクス 東京都赤十字血液センター 福山通運
荏原製作所 コスモ企業 第三東海 東京都下水道局 廣記商行
佐藤食品工業 有明興業 ヒビノ コマデン 新開トランスポートシステムズ 他

敬称略 順不同

工場のご案内

屋上

エアコンプレッサー室
エレベータ機械室
給電・変圧設備



5階 塗装

塗装ブース×2
車体修正機×1
調色室

工



4階 钣金

損傷の大きな車
車体修正機×1

レ



3階 钣金

損傷の小さい車
簡易塗装ブース

ベ



2階 事務

事務所・会議室
お客様待合スペース

ー



1階 整備

フロント
検査ライン
整備スペース

タ



所在地マップ



アクセス

● 自動車 ●

首都高 湾岸線 西行き・東行き 大井南出口 約 10 分

首都高 湾岸線 西行き・東行き 空港中央出口 約 10 分

首都高 横羽線 上り・下り 平和島出口 約 10 分

● 電車・バス ●

J R 京浜東北線 大森駅 京浜島循環バス 約 25 分

京浜急行線 平和島駅 京浜島循環バス 約 15 分

東京モノレール 昭和島駅 徒歩 約 20 分

インフォメーション (I)

● コンピュータ故障診断機 ●



お客様へ安心と安全をご提供する企業として、高性能化する自動車の故障診断時間の短縮と診断結果の確実性を追求し、弊社では高性能スキャンツール・「G - S c a n」を導入しております。

「G - S c a n」は国産乗用車9メーカー、国産トラック・バス4メーカーはもちろん、輸入乗用車18メーカーの計31メーカーもの幅広いメーカーに対応しており、更なる対応メーカーの拡充が進められています。

対応メーカーだけでなく、カプラなども充実しておりますので、対応車種数においても業界 No.1 を誇っています。

今まではディーラーに持ち込んで専用の診断機器で行っていた作業を、すべて弊社内で完結できるサービス体制を整えております。

「あれ？車の調子が悪いな。」と思われたら、お気軽に弊社へお立ち寄り下さい。

インフォメーション (Ⅱ)

● 水性塗料の導入 ●



今までの自動車補修用塗料のほとんどは、有機溶剤（シンナー）を使って塗料の粘度を調整していますが、世界中で地球環境汚染が問題として議論されている今、VOC（揮発性有機化合物）による大気汚染を考慮して排出規制が厳しくなっています。

また、塗料や有機溶剤に含まれる化学物質が、塗装作業者の健康へ及ぼす影響を少なくするため、より有害な化学物質の少ない塗料や溶剤への切り替えが模索されており、トヨタ自動車においては新車ボディ塗装ラインにおける塗料に、環境負荷の少ない水性塗料が導入されています。

トヨタ自動車では、順次トヨタ系自動車ディーラーの修理工場でも補修で使用する塗料を水性塗料化する予定で、2020年度完全水性塗料化を目指しています。

弊社でも、今まで以上に環境への配慮、塗装作業者の健康・安全を重要視して、一部ユーザー様の車両補修に水性塗料を導入しています。

Founding year 1979

With the automobile